



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

第 48 回「被災地に学ぶ会」のご報告

- ◆日時と天候 令和 5 年 3 月 11 日（土） 晴れ 5℃/19℃
- ◆活動場所と内容 南相馬市小高区上根沢 笹竹の伐採
- ◆参加者 10 名(教員 4 名 一般 5 名 中学生 1 名)
- ◆日程
 - 4:00 草加市社会福祉協議会駐車場集合・出発
 - 8:00 南相馬市ボランティア活動センター着・センター長講話・マッチング
 - 9:30 現場着・黙禱・活動開始
 - 15:30 活動終了
 - 16:20 終了報告・南相馬市ボランティア活動センター出発
 - 16:40 「道の駅なみえ」にて買い物 ～ 17:00 出発
 - 20:00 草加市社会福祉協議会駐車場着・解散

【12 年目の 3.11】

この日、センターには我々を含めて 20 名弱のボラが集まりました。埼玉便教会メンバーは、初参加 3 名あり、親子参加あり、大阪からの参加あり、寝坊して自家用車で駆け付ける方あり（笑）ということで、いつになく多様でした。当チームへの依頼内容は久々の「笹竹退治」。センター長の講話に力をもらい、現場に乗り込むと、広大な敷地の斜面いっばいに笹竹が待っていました。海のある東方を向いて 1 分間の黙禱を捧げた後、特に事故防止の注意喚起をして作業を開始します。笹竹を刈り倒す人、運び出す人、枝打ちをする人、整理する人などに分かれて、まず午前の 2 クールを無事終えました。昼食はほっかほっか亭弁当。配達してくれた酒井さんに、12 年目の被災地の様子を聞くことができました。とにかく「若い人がいない」そうです。

重く厳しく術無い現実ですが、それでも南相馬に通い、被災者の方々のニーズを解消すべく、汗を流すことしか思い浮かびません。午後 2 時 46 分。作業を休止し、サイレンが鳴り響く中、静かに手を合わせます。そして心新たに笹竹と向き合い直しました。



松本センター長の講話



「被災地の今」を聞く



Before



After



枝打ち作業の様子

